

東北地方太平洋沖地震への福島第一原子力発電所の対応

1. 地震直後の原子力発電所への影響

(1) 東京電力(株)福島第一原子力発電所

1～3号機:地震により自動停止(1号機:46万kW、2～3号機:78.4万kW)

4～6号機:定期検査のため停止中(4～5号機:78.4万kW、6号機:110万kW)

2. 地震後の原子力発電所の対応(時刻等;出典「官邸、保安院及び東電プレス情報」)

(1) 東京電力(株)福島第一原子力発電所

3月11日(金)

14:46 1～3号機 地震発生により自動停止。

15:42 原子力災害特別措置法第10条報告事象と判断(1F1～3号機)

(外部電源の喪失後、非常用DGが自動起動したが故障により全交流電源が喪失状態のため)

15:45 オイルタンクが津波により流出(官邸情報)

16:36 原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(1F1、2号機)

(1、2号機の注水流量の確認ができないため、念のため(非常用炉心冷却装置注入不能)に該当すると判断)

19:03 緊急事態宣言

(1F1、2号機の水位が確認できないことから、原子炉冷却水の喪失が発生しているとみなして緊急事態宣言)

20:50 福島県対策本部:福島第一原子力発電所の半径2kmの住人に避難指示をだした。(2km以内の住人は1864人)

21:23 国:原子力災害特別措置法第15条第3項により、福島第一原子力発電所の半径3km圏内の住人に対する避難指示。半径10km圏内の住人に対する屋内退避指示。

3月12日(土)

01:20 1号機 原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(「格納容器圧力異常上昇」に該当と判断)

05:44 総理が、福島第一原子力発電所の10km圏内に対する避難指示。

06:50 保安院が、原子炉等規制法第64条第3項の規定に基づき、1号機および2号機の原子炉格納容器内の圧力抑制を命じた

15:36 1号機 水素爆発発生

(1号機の原子炉建屋最上階部分の外壁が喪失)

- 16:17 福島第一原子力発電所の放射線量の値が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため **15条報告事象と判断**(MP4付近)
- 18:25 総理が、福島第一原子力発電所から半径 20km圏内の住人に対する避難指示
- 20:05 保安院が、原子炉等規制法第 64 条第 3 項の規定に基づき、1 号機の海水注入等を命じた。
- 20:20 1 号機 海水およびホウ酸注入を開始

3 月 13 日(日)

- 05:10 原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**(1F3 号機)
(3 号機の全注水機能を喪失(非常用炉心冷却装置注入不能)のため)
- 08:56 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**(MP4)
(発電所境界の放射線量が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため)
- 09:20 3 号機 ベントを成功
(ベント弁の操作を行い、8 時 41 分に圧力を低下させる措置を完了)
- 09:25 3 号機 原子炉内に消火系ラインからホウ酸を含んだ真水注入開始
- 09:30 総理が、原子力災害特別措置法に基づき、放射能除染スクリーニングの内容について指示
- 13:12 3 号機 注水を真水から海水に切替およびホウ酸注入を開始
- 14:15 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**(MP4)
(発電所境界の放射線量が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため)

3 月 14 日(月)

- 01:10 1 号機および 3 号機 海水注入を停止
- 03:20 3 号機 圧力容器の注水を再度継続
- 03:50 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**(MP6付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 04:15 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**(MP2付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 06:10 3 号機 ドライウエル圧力 460KPa(設計上の最高使用圧力:427KPa)程度まで上昇
- 06:50 3 号機 格納容器圧力が 530KPaまで上昇
- 07:44 3 号機 原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**
(格納容器圧力異常のため)
- 09:05 3 号機 格納容器圧力は緩やかに低下し 490KPa
- 09:27 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**(MP3)
(発電所境界の放射線量が制限値(500 μ Sv/h)を超えたため)
- 11:01 3 号機 爆発発生
- 13:25 2 号機 原子力災害特別措置法第 **15 条報告事象と判断**(原子炉冷却機能喪失したため)
- 18:22 2 号機 原子炉水位 -3700mm に到達。燃料全体露出と判断

- 21:37 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所正門付近)(敷地境界放射線量上昇が発生したため)
- 22:50 2号機 原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(格納容器圧力異常のため)

3月15日(火)

- 06:10 2号機 圧力抑制室付近で異音が発生し、同室内圧力が低下、同室で何らかの異常が発生
- 06:14 4号機 音がして壁に穴が開いた
3号機 煙が出ている
- 06:51 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 06:56 4号機建屋の上が変形した模様
- 08:11 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 08:25 2号機 建屋5階付近から白い煙を確認
- 09:38 4号機 原子炉建屋3階北西付近より火災発生を確認し、消防へ通報
- 10:01 4号機 消火について経済産業省から米軍に依頼
- 10:22 2号機と3号機の間で30mSV/h、3号機周辺400 mSV/h
4号機 周辺100 mSV/h
- 10:59 福島第一原子力発電所オフサイトセンターに対し、退避命令発出
- 11:26 福島第一原子力発電所オフサイトセンター、福島県庁に退避完了
- 12:25 4号機 鎮火を確認(中に入れないので外から確認)
- 16:17 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 23:05 福島第一原子力発電所原子力災害特別措置法第 15 条報告事象と判断(発電所正門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)

3月16日(水)

- 5:45 4号機 原子炉建屋3階北西付近より火災発生を確認
- 6:20 4号機 火災を東電から地域消防に通報
- 8:34 3号機 白煙が大きく噴出
- 11:14 3号機 白煙はプールからの蒸発量が多いものと推定

3月17日(木)

- 09:48 3号機陸自ヘリによる放水(4回)実施(~10:01)
- 19:05 3号機警察放水車による放水(1回)実施(~19:15)
- 19:35 3号機自衛隊消防車による放水(5回)実施(~20:09)
(放水前後の放射線量(3,630 3,586 μ Sv/h))

3月18日(金)

- 10:00 使用済燃料共用プールの満水(温度:55°C)確認。また、乾式キャスク建屋の外観目視点検の実施結果、異常なし
- 13:30 5号機 屋上孔開け作業終了
- 14:00 頃 3号機 自衛隊消防車による放水(7回)実施(~14:38)
- 14:42 3号機 米軍高圧放水車を使用した東電による放水(1回)実施(~14:45)
- 17:00 6号機 屋上孔開け作業終了
- 17:48 福島第一、第二原子力発電所事故について原子力安全・保安院がINES(国際原子力・放射線事象評価尺度)の暫定評価結果発表
 - ・ 1,2,3号機:評価レベル5(広範囲な影響を伴う事故)
 - ・ 4号機 :評価レベル3(重大な異常事象)

3月19日(土)

- 00:30 3号機 緊急消防援助隊消防車による連続放水実施(~00:50)
- 05:00 5号機 RHRポンプ(C)運転再開による使用済み燃料プール冷却開始
- 07:42 6号機 非常用ディーゼル発電機2台運転可能になり、5,6号機で非常用ディーゼル発電機による電源を確保
- 08:58 原子力災害特別措置法第15条報告事象と判断(発電所西門付近)(敷地境界放射線量異常上昇のため)
- 09:15 5,6号機 原子炉建屋屋根部に水素ガス滞留防止穴あけ(3箇所)完了
- 14:05 3号機 緊急消防援助隊消防車による連続放水実施(~20日03:40)放水前後の放射線量(3,417 2,758 μ Sv/h)
- 18:30 5号機 使用済燃料プール温度低下 68.8°C(19日06:00) \Rightarrow 48.1°C(18:00)
- 22:14 6号機 RHRポンプ(C)運転再開による使用済み燃料プール冷却開始

3月20日(日)

- 03:00 6号機 使用済燃料プール温度低下 67.5°C(19日23:00) \Rightarrow 52.0°C(03:00)
- 08:00 3号機 炉内温度が三百数十度、炉圧が高くなっている(原子炉の通常運転中:280~290°C)
- 08:20 4号機 自衛隊消防車(10台)による放水(約80トン)実施(~09:29)
- 14:30 5号機 冷温停止状態(炉水100°C未満)
- 15:05 2号機 東電消防車による注水(約40トン)実施(~17:20)
- 18:22 4号機 自衛隊消防車(10台)による放水(約80トン)実施(~19:43)
- 19:27 6号機 冷温停止状態(炉水100°C未満)
- 21:30 3号機緊急消防援助隊消防車による連続放水(約1,137トン)実施(~21日03:58)

3月21日(月)

- 06:37 4号機自衛隊消防車(12台)、東電米軍高圧放水車による放水(13回、計約90トン)実施(~08:41)
放水前後の放射線量(2,319 2,126 μ Sv/h)
- 10:37 使用済燃料共用プールに東電消防車による注水(約130トン)実施(~15:30)

- 14:30 1～4号機放水口付近(南側)における海水サンプリング核種分析の結果、放射線核種が検出された
- 15:55 3号機 やや灰色がかった煙が噴出(調査中)
- 16:49 3号機 煙量に変更なし、灰色から白色に変化
- 18:02 3号機 煙の鎮静化を確認
- 18:22 2号機 建屋屋上屋根部から白いもや状の煙が噴出(調査中)
- 3月22日(火)
- 15:10 3号機 緊急消防援助隊消防車による連続放水(約150トン)実施(～16:00)
- 16:19 2号機 東京電力消防車による注水(約18トン)実施(～17:01)注水前後の使用済燃料プール温度(53 51℃)
- 17:17 4号機 東京電力コンクリートポンプ車による放水(150トン)実施(～20:32)
- 19:41 5,6号機 外部電源に切替完了
- 22:46 3号機 中央制御室照明点灯
- 3月23日(水)
- 02:33 1号機 原子炉圧力容器注水ラインに「給水ライン」追加(消火系ラインを用いた注水継続)
- 09:00 1号機 原子炉圧力容器注水ラインを「給水ライン」のみに切替(消火系ライン停止)
- 10:00 4号機 東京電力コンクリートポンプ車による放水(約125トン)実施(～13:02)放水前後の放射線量(211.49 224.1 μSv/h)
- 11:00 3号機 東京電力(冷却材浄化系)による海水注水(約35トン)実施(～13:20)
- 16:20 3号機 黒煙が噴出(煙が止んでいることを東京電力社員が23:30頃確認)
- 17:24 5号機 仮設電源より本設電源へ切替た際、残留熱除去系海水ポンプ自動停止(24日予備機に切替予定)
- 3月24日(木)
- 05:35 3号機 東京電力(冷却材浄化系)による使用済燃料プールへの海水注水(約120トン)実施(～16:05)
- 10:50頃 1号機 原子炉建屋屋上屋根部から白いもや状の湯気が出ていることを確認
- 11:30頃 1号機 中央制御室照明点灯
- 14:25 3号機 タービン建屋地下の高圧復水ポンプ電源盤付近の水(深さ3～5cm程度の模様)を測定したところ、200mSvを記録
- 14:36 4号機 東京電力コンクリートポンプ車による放水実施(約150トン)(～17:30)
- 15:37 外部電源から使用済燃料共用プールへ電源供給開始
- 16:35 5号機 故障した残留熱除去系海水ポンプを交換、運転開始
- 18:05 使用済燃料共用プール冷却ポンプ起動
- 3月25日(金)
- 06:05 4号機 東京電力(冷却材浄化系)による使用済燃料プールへの海水の注水を実施(～10:20)

- 08:30 1号機 南放水口付近で採取(同時刻)した海水について、核種分析の結果、I(ヨウ素)-131 に関し、炉規則告示濃度限度の約 1250 倍を検出(前日の数値の約 12 倍)
- 09:00 2号機 原子炉建屋内の水が大物搬入口から一般排水口に流れた跡(大物搬入口から一般排水口に流れたと思われる後はあるが、26 日夜時点では流れていない)
- 10:30 2号機 東京電力(冷却材浄化系)による使用済燃料プールへの海水の注水を実施(~12:19)
- 11:00 1、2、3号機の原子炉への注水について、海水から淡水(純水タンクを利用)への切替開始(現場に深い水たまりがある場合は禁止)
- 13:28 3号機 緊急援助隊(川崎消防庁)の消防車による放水を実施(約 450トン)(~16:00)
- 15:37 1号機 原子炉への淡水での注水を開始
- 15:38、15:47 6号機 代替の残留熱除去ポンプ 2 台を仮設電源から本設電源に切替えて運転
- 18:02 3号機 原子炉への淡水での注水を開始
- 19:05 4号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による放水を実施(約 150トン)(~22:07)
- 23:10 1号機 タービン建屋 1 階にある水溜りから 380 万ベクレルの放射線量を検出
 * 1号機タービン建屋地下溜まり水の測定結果
 Cl(塩素)-38 濃度: $1.6 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
 As(ヒ素)-74 濃度: $3.9 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$
 Y(イットリウム)-91 濃度: $5.2 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
 I(ヨウ素)-131 濃度: $2.1 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
 Cs(セシウム)-134 濃度: $1.6 \times 10^5 \text{Bq/cm}^3$
 Cs(セシウム)-136 濃度: $1.7 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3$
 Cs(セシウム)-137 濃度: $1.8 \times 10^6 \text{Bq/cm}^3$
 La(ランタン)-140 濃度: $3.4 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$

3月26日(土)

- 10:10 2号機 原子炉への淡水での注水を開始
- 14:30 1号機 南放水口付近で採取(同時刻)した海水について、核種分析の結果、I(ヨウ素)-131 に関し、炉規則告示濃度限度の約 1850 倍を検出(前日の数値の約 1.5 倍)
- 16:46 2号機 中央制御室照明点灯

3月27日(日)

- 2号機 東京電力はタービン建屋内溜まり水を採取(26日採取)し測定した結果、1,000 mSv/h 以上の水表面線量率を検知したと発表。なお、汚染水に含まれる

核種のうち、ヨウ素 134 については、通常の炉心の水の約 1, 000 万倍の濃度 ($2.9 \times 10^9 \text{Bq/cm}^3$) を検出したと公表

- 07:30 現時点において、タービン建屋溜まり水の処理について
- ・1号機:復水器へ移送中
 - ・2号機:復水器へ移送準備
 - ・3、4号機:復水器へ移送検討中
- 12:34 3号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水(約 100トン)を実施(~14:36)
- 15:30 1~3号機 タービン建屋海側(屋外)のトレンチの立抗に水溜まりを確認。水表面の線量は、1号機が 0.4mSv/h、2号機が 1, 000mSv/h 以上、3号機は瓦礫のため計測不能
- 16:55 4号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水(約 125トン)を実施(~19:25)
- 18:31 2号機 消防ポンプ車から仮設電動ポンプによる注水に切替。水の供給源を仮設タンクから純水タンクに変更

3月28日(月)

21日および22日に福島第一原子力発電所の敷地内(5地点)で採取した土壌の分析を行なった結果、プルトニウム 238、239、240 を検出(濃度は過去の大気圏内核実験の際に国内で観測されたフォールアウトと同様のレベルであるが、検出されたプルトニウム 238 のプルトニウム 239、240 に対する放射能比からみて、5点のうち2点のプルトニウムについては今回の事故に由来する可能性がある)引き続き土壌中の他の放射性物質の核種分析を実施

- 00:07 東京電力は27日に発表した2号機建屋内溜まり水の測定結果に関し、再評価した結果、ヨウ素 134 の濃度に関するデータは誤りであり、検出限界値未満であったと訂正。(1, 000mSv/h の水表面線量率については維持)
- 17:40 3号機 溜まり水について復水貯蔵タンクからサージタンクへ移送開始
- 20:30 3号機 原子炉への冷却水注入を消防ポンプ車から仮設電動ポンプによる注水に切替

3月29日(火)

- 08:32 1号機 仮設電動ポンプへの切替作業が終了し、注水開始
- 11:50 4号機 中央制御室照明点灯
- 14:17 3号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 100トン) (~18:18)
- 16:30 2号機 使用済燃料プールへの冷却水注入を仮設電動ポンプによる淡水注水に切替
- 16:36 集中環境施設プロセス主建屋地下2階に水溜りを確認。分析結果から放射能検出(管理区域: 12Bq/cm^3 、隣接ボイラー室(非管理区域): 22Bq/cm^3)
- 16:45 2号機 溜まり水について復水貯蔵タンクからサージタンクへ移送開始

3月30日(水)

- 福島第一原子力発電所の南放水口付近において29日13:55に採取された海水から基準の3,355倍の放射性ヨウ素(I-131)検出
- 09:45 2号機 使用済燃料プールへの冷却水注入に関し、仮設の電動ポンプの不調により、消防ポンプへ切り替えたが、ホースの一部に亀裂を確認。注水再開に向け準備
- 14:04 4号機 使用済燃料プール冷却のため、東京電力コンクリートポンプ車での放水(約140トン)実施(～18:33)
- 19:05 2号機 消防ポンプによる使用済燃料プールへの注水実施(23:50頃、防火水槽(水源)の水位低下のため注水停止)

3月31日(木)

- 1号機 地下水に関し、約1万倍の放射性ヨウ素(I-131)を検出
ヨウ素(I-131)濃度 : $4.3 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$
- 08:37 3号機 溜まり水について復水貯蔵タンクからサージタンクへ移送終了
- 08:51 福島第一原子力発電所の南放水口付近において30日13:55に採取された海水から基準の4,385倍の放射性ヨウ素(I-131)を検出。また、5～6号機放水口北口において30日08:40に採取された海水から基準の1,425倍の放射性ヨウ素を検出
- 09:20 1号機 立抗(トレンチ)内の滞留水を仮設ポンプで集中RW建屋に移送(～11:25)。この結果、立抗内の水位が1m下がる(上端から約0.14mが約1.14m)
- 12:00 1号機 タービン建屋の溜まり水について、復水貯蔵タンクからサージタンクへ移送開始
- 13:03 1号機 使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車による放水開始
13:57 放水中止(送水ポンプバッテリー不具合のため)
14:29 放水再開(バッテリー交換により動作良好となったため)
16:04 予定水量(約90トン)を放水終了
- 16:30 3号機 使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車による放水(約105トン)開始(～19:33)

4月1日(金)

- 08:28 4号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水実施(約180トン)(～14:14)
- 11:50 2号機 溜まり水について復水貯蔵タンクからサージタンクへ移送終了
- 13:40 6号機 ラドウェストビル地下の水溜りの水を5号機の復水器(ホットウェル)へ移送開始
- 14:56 2号機 使用済燃料プールへ通常の運転ラインによる淡水注水実施(約70トン)(～17:05)
- 15:00 共用プール周辺(500m²)において飛散防止剤2,000リットルを試験散布(～16:04)

15:58 米軍はしけ船1号によるろ過水タンクへの移送開始(16:25 ホース不具合により中断)

4月2日(土)

09:30 2号機 取水口付近にある電源ケーブルを納めているピット内に1,000 mSv/hを超える水が溜まっていること、ピット脇のコンクリートに20cm程度の亀裂があり、亀裂部からピット内の水が海に流出していることを確認(コンクリート注入による止水処置の準備を開始)(ピット内の放射性核種については測定・分析中)

09:52 3号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水実施(約75トン)(~12:54)

10:20 米軍はしけ船1号からろ過水タンクに淡水を注入実施(~16:40)

15:26 1号機 タービン建屋の溜まり水について復水貯蔵タンクからサージタンクへ移送終了

16:25 2号機 取水口付近のピットへコンクリート注入による止水作業開始(19:15 作業者の線量計が閾値(20 mSv/h)を超えたため作業終了)

17:10 2号機 復水器から復水貯蔵タンクへの水の移送開始

4月3日(日)

12:18 1、2、3号機 原子炉圧力容器への注入用仮設電動ポンプに関し、電源車から本設電源への切替の上、運転開始

13:47 2号機 取水口付近のピット内の漏水に関し、高分子吸収剤、おがくず等による止水作業を開始(~14:30)

17:14 4号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水実施(約180トン)(~22:16)

17:42 2号機 取水口付近のピット内の漏水に関し、投入したおがくず等が乾燥してきたため、ミキサー車にて水を注入し、攪拌を実施

4月4日(月)

07:08 2号機 取水口付近のピット内の漏水に関し、流出経路特定のため、ピットにトレーサー(乳白色の粉末)を投入(~07:11)

4月5日 09:30 現在、取水口からのトレーサー流出確認されず

11:05 2号機 使用済燃料プールへの冷却水の注入(約70トン)(~13:37)

17:03 3号機 使用済燃料プールへのコンクリートポンプ車による放水(約70トン)(~19:19)

19:03 集中廃棄物処理施設内の低レベル滞留水の放水口南側海域への放出開始(総放出量約9,070トン)(~4/6 06:30、4/8 14:30~4/10 17:40)

21:00 5,6号機 サブドレンピットにある低レベル地下水を放水口経由で海へ放出開始

4月5日(火)

2号機 バースクリーン前の海水(2日 11:50 採取)から濃度限度の約750万倍のヨウ素(I-131)を検出

- 14:15 2号機 取水口付近のピット内の漏水に関し、流出経路特定のため、ピット下の砕石部にトレーサー注入したところ、亀裂から流出している水にトレーサーが含まれていることを確認
- 15:07 2号機 取水口付近のピット内の漏水に関し、ピット周辺に穴を開け、凝固剤を注入(約3,000リットル)⇒一時的に流量が少なくなったが、流出量は元に戻る。凝固剤注入(計6,000リットル)
- 17:35 4号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水実施(約20トン)(~18:22)

4月6日(水)

敷地内において、3月25日、28日に採取した土壌の分析を行なった結果、プルトニウム238、239、240を検出(濃度は過去の大気圏内核実験の際に国内で観測されたフォールアウトと同様のレベルであるが、検出されたプルトニウム238のプルトニウム239、240に対する放射能比からみて、一部のプルトニウムについては今回の事故に由来する可能性がある)

- 05:38頃 2号機 取水口付近のピット側面のコンクリート部分から放射性物質を含む液体の海への流出停止を確認(2号機タービン建屋の水位は上昇していないことを確認)(引き続き止水作業を継続)
- 22:30 1号機 原子炉格納容器に関し、水素爆発防止のため窒素ガス注入装置を起動

4月7日(木)

午前中までに立抗ピット水位が5cm上昇

- 01:31 1号機 原子炉格納容器内へ窒素ガス注入を開始
- 06:53 3号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による放水(約70トン)実施(~08:53)
- 13:29 2号機 使用済燃料プールへの淡水注水(約36トン)実施(~14:34)
- 18:23 4号機 使用済燃料プールへの淡水注水(約38トン)実施(~19:40)
- 23:52 23:32頃発生した地震に関し、1~6号機およびモニタリングポストの値に有意な異常は確認されていない

4月8日(金)

- 17:08 3号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水(約75トン)実施(~20:00)

4月9日(土)

- 04:10 1号機 高純度窒素ガス発生装置による窒素注入作業開始
- 13:10 2号機 復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了
- 17:07 4号機 東京電力(コンクリートポンプ車)による使用済燃料プールへの放水(約90トン)実施(~19:24)

4月10日(日)

- 09:00 リモートコントロール重機による敷地内のがれき撤去を実施(~17:00)
- 09:30 1号機 復水器から復水貯蔵タンクへの移送完了
- 10:37 2号機 使用済燃料プールへの冷却水注入(約60トン)実施(~12:38)

17:15 3号機 使用済燃料プールへの冷却水注水(約80トン)実施(~19:15)

4月11日(月)

10:45 南側防波堤に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを二重に設置完了

17:16 17:16頃発生した地震に関し、1,2号機 外部電源喪失、1~3号機炉心注入ポンプ停止、1号機 窒素ガス注入ポンプ停止

17:56 1,2号機 外部電源復旧

18:04 1~3号機 炉心注入ポンプ再起動

23:19 1号機 窒素ガス注入弁 開操作を再開⇒23:24 窒素ガス注入弁 開

4月12日(火)

06:38 南側放水口付近にある1~4号機放水口サンプリング建屋のバッテリーを収納している盤から出火を確認⇒09:12 鎮火を確認

10:00 4号機 使用済燃料プール内の燃料の状況把握のため、プール水のサンプリング実施(水温:約90℃、放射線量:原子炉建屋5階床面より約6m上で約84 mSv/h)

11:20 福島第一原子力発電所事故・トラブルに対するINES(国際原子力・放射線事象評価尺度)評価について、1~3号機:レベル7と暫定評価(広範囲な影響を伴う事故)

16:26 3号機 使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車による淡水放水(約35トン)実施(~17:16)

19:35 2号機 タービン建屋トレンチの滞留水を水中ポンプにより、復水器ホットウェルへ移送開始(4/12 19:35~4/13 11:00 漏えい確認等のため、一時停止)

4月13日(水)

00:30 4号機 使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車による淡水放水(約195トン)実施(~06:57)

08:30 2号機 バースクリーン海側に仮設の止水板2枚(累計3枚)を設置(~10:00頃)

13:15 2号機 使用済燃料プールへの注水(約60トン)実施(~14:55)

13:50 3,4号機 スクリーン前面に汚染水拡散防止のためのシルトフェンスを設置完了

15:02 2号機 タービン建屋トレンチにある高レベル滞留水の復水器への移送再開

17:04 2号機 タービン建屋トレンチにある高レベル滞留水を復水器へ移送停止
(移送実績約660トン)

4月14日(木)

12:20 1,2号機 スクリーン前面および取水口前へシルトフェンス設置完了

15:56 3号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約25トン)実施(~16:32)

4月15日(金)

津波対策として、原子炉注水用ポンプの仮設ディーゼル発電機およびポンプ制御盤を高台へ移設完了

14:15 2号機 スクリーン室面に鉄板を設置完了(鋼板7枚中4枚)

- 14:30 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 140トン)実施
(~18:29)
3~4号機 スクリーン室近傍の3ヶ所に各々100kgのゼオライト入り土のうを投入
(~15:45)

4月16日(土)

- 10:13 2号機 使用済燃料プールへの注水(約 45トン)実施(~11:54)

4月17日(日)

- 09:00 ゼオライト入り土のうを合計7袋設置(~11:15)
・1、2号機スクリーニングポンプ室の間に2袋
・2、3号機スクリーニングポンプ室の間に5袋
11:30 1、3号機 遠隔操作ロボットによる原子炉建屋内の現場状況調査実施
(~17:30)
14:34 使用済燃料共用プールへの電源供給が当該回路の末端部の短絡により停止
17:30 復旧
17:39 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 140トン)
実施(~21:22)

4月18日(月)

- 09:30 2号機 電源トレンチ内に止水剤(水ガラス)を注入(約 17,000L)(~17:40)
13:28 1~3号機 原子炉への冷却水注水系に使用しているホース交換後の注水ポン
プの起動状態等を確認。ホース取替えに伴う注水ポンプの停止期間⇒
1号機:11:50~12:12、2号機:12:13~12:37、3号機:12:38~13:05
14:17 3号機 使用済燃料プールへの注水(約 30トン)実施(~15:02)
17:40 2号機から集中廃棄物処理施設まで廃液移送ラインのリークテスト終了
19:00 集中廃棄物処理施設への廃液受け入れのため、仮設配管、電源敷設及び止水
作業を終了

4月19日(火)

- 08:00 2号機 電源トレンチ内に止水剤(水ガラス)を注入(約 7,000L)(~15:30)
10:08 2号機 タービン建屋トレンチ内にある滞留水(高線量の滞留水)の集中廃棄物
処理施設プロセス建屋への移送を開始
10:17 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 40トン)実施
(~11:35)
10:23 外部電源の連絡ケーブル接続および受電試験を実施し、関係線設置工事完了
(電源多重化として1・2号機、3・4号機間の外部電源連絡ケーブルの接続実施)
11:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水(約 100m³)を復水器へ移送(~15:00)
16:08 2号機 使用済燃料プールへの注水(約 47トン)実施(~17:28)

4月20日(水)

- 9:51 6号機 仮設の残留熱除去海水系(RHRS)のホースの位置を変えるため、残留熱
除去系(RHR)ポンプを一時停止し、同ポンプ移設実施後、冷却再開(15:56)

17:08 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 100トン)実施
(~20:31)

4月21日(木)

- ・ グラウト施工による流出箇所の止水強化工事完了
- ・ 4月2日に確認された、2号機取水口スクリーン付近のコンクリート亀裂部からの高濃度汚染水流出の流出量約 520m³、放射エネルギーは約 4.7 × 10¹⁵Bqと推定

17:14 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 140トン)実施
(~21:20)

4月22日(金)

13:40 3号機 使用済燃料プールへの注水(約 10トン)実施(~14:00)

14:19 3号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 50トン)実施
(~15:40)

15:55 2号機 使用済燃料プールへの注水(約 50トン)実施(~17:40)

17:52 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 200トン)実施
(~23:53)⇒使用済燃料プールの水温(放水前約 91℃)

4月23日(土)

12:30 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 140トン)実施
(~16:44)⇒使用済燃料プールの水温(約 83℃→約 66℃)

4月24日(日)

12:25 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(約 165トン)実施
(~17:07)⇒使用済燃料プールの水温(約 86℃→約 81℃)

4月25日(月)

10:12 2号機 使用済燃料プール冷却系から使用済燃料プールに淡水注入(約 38トン)
(~11:18)

10:57 1~3号機 外部電源増強工事のため、原子炉圧力容器への淡水注入に用いている電動ポンプ電源を外部電源から仮設ディーゼル発電機に切替

18:15 4号機 使用済燃料プール冷却のためコンクリートポンプ車による放水(約 210トン)実施(~24:26)

4月26日(火)

12:22 5号機 外部電源増強工事に伴い、残留熱除去系ポンプを一時停止(~16:43)

12:25 3号機 使用済燃料プールへの淡水注水(約 47.5トン)実施(~14:03)

13:30 3号機 タービン建屋海側で飛散防止剤を本格散布(5,000m²)開始(~17:00)

16:50 4号機 使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車による放水(約 130トン)実施(~20:35)

4月27日(水)

10:02 1号機 原子炉注入量を約 6m³/h から最大約 14 m³/h まで段階的に変化させる操作を開始

12:18 4号機 使用済燃料プール冷却のため、コンクリートポンプ車による放水を開始

(約 85t) (～14:01 停止、14:32 再開～15:15 終了)

4月 28日 (木)

10:15 2号機 使用済燃料プールに淡水注水(約43t) (～11:28)

11:55 4号機 プール水のサンプリングを実施(～12:07)

4月 29日 (金)

10:14 1号機 原子炉注水量を10m³/hから6 m³/hに変更

11:36 1号機 リモートコントロールロボットによる原子炉建屋1階の状況調査を実施し、
原子炉格納容器から有意な水漏れがないことを確認(～14:05)

4月30日 (土)

12:08 3,4号機 外部電源増強(大熊線3Lからの受電)工事完了。

14:05頃 2号機 タービン建屋トレンチ内立坑から集中廃棄物処理施設への水の移送
再開

5月1日 (日)

13:35 2号機 トレンチ立坑の閉塞作業を開始

14:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水(約 120m³)について、仮設タンクへの移送
を実施、(～17:00)

5月2日(月)

10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水(約220 m³)仮設タンクへの移送を実施
(～16:00)

10:05 2号機 使用済核燃料プールに淡水注水(約55t)実施(～11:40)

12:58 1～3号機 炉心注入ポンプへの警報設置(～14:53)

15:03 5,6号機 常設電源復旧工事の一環としての、起動変圧器(5SB)試験充電作業
を実施(～15:03)

5月3日(火)

14:00 6号機 タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水(約114 m³)を移送

5月4日(水)

09:40 2号機 立坑閉塞作業のためのコンクリート打設実施(80m³)(～15:45)

10:09 3号機 原子炉圧力容器の温度上昇に伴い、原子炉注水量を約7m³/hから
9m³/hに変更

5月5日(木)

12:19 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水を開始(～20:46)

16:36 1号機 原子炉建屋作業環境改善のため、局所排風機の全台運転(計6台)によ
る原子炉建屋内の換気を開始

5月6日(金)

02:04 福島県浜通りを震源とする地震発生(最大震度5弱)。福島第1、2原発異常なし

09:36 2号機 仮設の電動ポンプによる使用済燃料プールへの水の注入実施(～11:16)

10:01 1号機 原子炉格納容器を冠水させるための注水量を約6m³/hから約8m³/hへ
増加

12:38 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(180t)実施
(~17:51)

14:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水について、仮設タンクへの移送(120m³)を再開(~17:00)

5月7日(土)

09:22 3号機 原子炉注水用配管の工事のため、2号機タービン建屋内から集中廃棄物処理施設への放射性廃液の移送を一時中断(16:02移送再開)

10:00 6号機 タービン建屋内から仮設タンクへ、溜まり水の移送を開始(~15:00)

14:05 4号機 コンクリートポンプ車による放水開始(約120t)(~17:30)

5月8日(日)

12:10 3号機 仮設電動ポンプによる使用済燃料プールへの注水(約60トン)実施
(~14:10)

16:18 3号機 復水器からタービン建屋地下へ水抜きを開始

20:08 1号機 原子炉建屋の二重扉を貫通しているダクトを切断し、一部開放

5月9日(月)

04:01 1号機 サンプリング実施、排気ダクト回収(~04:17)

04:17 1号機 原子炉建屋の二重扉開放

04:18 1号機 原子炉建屋内の環境サーベイのため、人の入域開始
ファーストサーベイ完了後全員退避。入域者被ばく線量最大値:10.5mSv(~04:47)

05:00 1号機 原子炉建屋二重扉解放後の空間線量率測定、周辺区域に影響なし

12:14 3号機 使用済燃料プールへの淡水注入(12:39~14:36 腐食防止剤(ヒドラジン)を併せて注入(約0.5m³))(約80トン)実施(~15:00)

14:00 6号機 タービン建屋地下から仮設タンクへ溜まり水(約60m³)の移送を再開

16:05 4号機 コンクリートポンプ車による使用済燃料プールへの放水(16:11~18:38)
ヒドラジンを併せて放水(約0.23m³)(約100トン)実施(~19:05)

5月10日(火)

09:01 2号機 タービン建屋立抗から集中廃棄物処理施設への高レベル放射性廃液の移送を一時中断(3号機原子炉への注水ライン変更工事のため)

09:31 3号機 タービン建屋側移送ライン敷設開始

10:00 6号機 タービン建屋地下から仮設タンクへ溜まり水の移送(~16:00)

11:00 6号機 原技路建屋地下の溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送(約10m³)
実施(~12:30)

13:09 2号機 使用済燃料プールへの淡水注入(13:19~14:35 腐食防止剤(ヒドラジン)を併せて注入(約1.2m³))(約56トン)実施(~14:45)

5月11日(水)

3号機 給水ラインに閉止プラグ溶接

08:47 1~3号機 大熊線2号線復旧に伴う一部の電源停止に伴い、原子炉注水ポンプ電源は、仮設ディーゼル発電機電源に切替、原子炉注水ポンプを運転

- 08:50 1号機 大熊線2号線復旧に伴う一部の電源停止に伴い、格納容器窒素ガス供給設備を停止
- 10:00 6号機 タービン建屋の溜まり水を仮設タンクへ移送再開(約120m³)(～16:00)
- 11:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送(約10m³)(～13:30)
- 12:30 3号機 スクリーン装置近傍のケーブルピット内に水の流入を発見
ピット内の水位上昇がないことから、ピットからの流出先確認及び核種分析のためサンプリングを実施中
- 15:55 1～3号機 大熊線2号線復旧終了(15:20)に伴い、原子炉注水ポンプの電源を仮設ディーゼル発電機から系統電源に切替
- 15:58 1号機 格納容器の窒素ガス供給設備復旧
- 16:07 4号機 使用済燃料プールへの放水(16:14～19:36 ヒドラジン注入)実施(約120トン)(～19:38)
- 18:45 3号機 スクリーン室南側ピット内への水の流入は18:40までコンクリート注入などの止水処理により止水を確認

5月12日(木)

- 05:00 1号機 原子炉水位燃料域Aについてダウンスケールとなったことを確認
- 10:00 6号機 タービン建屋の地下溜まり水を仮設タンクへ移送(約120m³)(～16:00)
- 10:30 6号機 原子炉建屋地下溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送(約7.5m³)実施(～13:30)
- 12:20 大熊線3号線復旧により、所内電源の切替終了
- 15:20 2号機 タービン建屋立坑から集中廃棄物処理施設への高レベル放射性廃液の移送再開
- 16:53 3号機 原子炉圧力容器への注水を給水系から3m³/hで開始(消火系からの注水は現状のまま)

5月13日(金)

- 10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送(約100m³)実施(～15:00)
- 11:30 6号機 原子炉建屋建屋地下溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送(約3.3m³)実施(～13:15)
- 16:04 4号機 使用済燃料プールへの放水(16:20～18:41 ヒドラジン注入 0.12m³)実施(約100トン)(～19:04)

5月14日(土)

- 10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送(約100m³)実施(～15:00)
- 13:00 2号機 使用済燃料プールへの注水(約56トン)実施(～14:37)

5月15日(日)

- 10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送(約100m³)実施

(～15:00)

13:28 1号機 原子炉への注入量を増やした際の原子炉圧力容器および原子炉格納容器のパラメータ傾向監視のため、原子炉注入量を8から10m³/hに増加

14:33 3号機 原子炉へ消火系ラインより五ホウ酸ナトリウムの注入(約180kg)実施
(～17:00)

16:25 4号機 使用済燃料プール冷却のため放水(16:26～18:30 ヒドラジン注入
0.30m³)(約140トン)実施(～20:25)

5月16日(月)

10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送(約80m³)実施
(～14:00)

15:00 3号機 使用済燃料プールへ燃料プール冷却材浄化系より淡水(約106トン)注水
実施(15:10～17:30 ヒドラジン注入約0.88m³)(～18:32)

5月17日(火)

10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水(約80m³)を仮設タンクへ移送実施(～17:00)

10:11 3号機 原子炉圧力容器への注水流量を変更
(給水系6 9m³/h、消火系9m³/hのまま、合計18m³/h)

11:50 1号機 炉心注水量を約10m³/hから約6m³/hに変更

16:14 4号機 使用済燃料プールへ淡水(約120トン)を放水実施
(16:40～18:35 ヒドラジン注入約0.6m³)(～20:06)

18:04 3号機 タービン建屋地下溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送開始

5月18日(水)

09:24 2号機 原子炉建屋に立ち入り、線量等を測定

10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水(約80m³)を仮設タンクへ移送実施(～14:00)

10:30 6号機 原子炉建屋地下溜まり水(約10.5m³)を同号機廃棄物処理建屋へ移送
実施(～12:30)

13:10 2号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水注入(約53トン)
実施(13:15～14:30 ヒドラジン約1.1m³)(～14:40)

16:30 3号機 窒素封入現場確認のため、原子炉建屋の事前調査実施(～16:40)

5月19日(木)

16:30 4号機 使用済燃料プールに淡水(約100トン)放水実施(～19:30)

5月20日(金)

09:30 1号機 原子炉建屋に入域し、水位監視と線量測定を実施(～12:15)

14:15 3号機 原子炉圧力容器への注入量を給水系9 12m³/hに変更

15:06 1号機 使用済燃料プールに淡水(約50トン)放水実施(～16:15)

17:39 3号機 原子炉圧力容器への注入量を消火系9 6m³/hに変更

5月21日(土)

14:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水(約80m³)を仮設タンクへ移送実施(～18:00)

16:00 4号機 淡水(約130トン)放水(16:23～19:00 ヒドラジン約0.4m³)実施

(～19:56)

5月22日(日)

13:02 2号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約56トン)注入
(13:04～14:03 ヒドラジン約1.0m³)実施(～14:40)

15:33 1号機 使用済燃料プールへ淡水(約90トン)放水実施(～17:09)

5月23日(月)

11:31 3号機 原子炉圧力容器への注入量を消火系6 5m³/hに変更

14:08 3号機 原子炉圧力容器への注入量を消火系5 4m³/hに変更

16:00 4号機 使用済燃料プールに淡水(約100トン)放水
(16:08～18:30 ヒドラジン約0.3m³)実施(～19:09)

5月24日(火)

09:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水(約400m³)を仮設タンクへ移送(～19:00)

10:15 3号機 燃料プール冷却材浄化系による使用済燃料プールへの淡水(約100トン)
注入(10:20～12:56 ヒドラジン約0.8m³)実施(～13:35)

5月25日(水)

09:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水(約336 m³)を仮設タンクへ移送実施
(～19:00)

09:05 2号機 電源切替に伴い、タービン建屋トレンチにある高線量の滞留水の集中廃
棄物処理施設への移送を一時中断(～15:30)

09:14 1号機 電源切替のため、原子炉格納容器への窒素封入を一時停止
(09:14～9:18、15:16～15:18)

15:45 1号機 窒素供給用コンプレッサーが停止していることを確認。予備機に切り替え
て封入開始(19:44)

16:36 4号機 使用済燃料プールへの淡水(約121トン)注入
(16:42～18:49 ヒドラジン約0.3m³)実施(～13:35)

5月26日(木)

10:06 2号機 燃料プール冷却材浄化系による使用済燃料プールへの淡水(約53トン)
注入(10:10～11:10 ヒドラジン注入)実施(～11:36)

14:45 2号機 原子炉圧力容器への注水用配管の工事のため、復水器の水をタービン
建屋地下へ移送(～5月27日14:30)

5月27日(金)

09:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水(約336.6m³)を仮設タンクへ移送(～19:00)

10:30 1号機 原子炉建屋滞留水の水位計の取り付け、地下滞留水のサンプリング
および使用済燃料プールへのホース敷設を実施

17:05 4号機 淡水(約100トン)を放水(～20:00)

5月28日(土)

09:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送(～19:00)

- 10:20 6号機 原子炉建屋地下溜まり水(約12m³)を同号機廃棄物処理建屋へ移送実施(～12:10)
- 13:28 3号機 燃料プール冷却材浄化系による使用済燃料プールに淡水(約50トン)注入実施(～15:08)
- 16:47 1号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水を注入するため、リークテストを実施(～17:00)
- 17:56 4号機 淡水(約60トン)放水実施(～19:45)
- 20:54 3号機 消火系配管からの原子炉への注水停止(給水系より炉心注水(約13.5m³/h))
- 21:14 5号機 残留熱除去海水系(RHRS)ポンプの停止を確認。予備ポンプへの交換作業開始(5月29日8:12)、RHRSポンプ起動(5月29日12:31)、残留熱除去系(RHR)による炉心の冷却開始(5月29日12:49)
- 5月29日(日)
- 09:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～19:00)
- 11:10 1号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約168トン)注入実施(～15:35)
- 11:33 2号機 消火系配管からの炉心注水(7m³/h)に加え、給水系配管から炉心注水(約5m³/h)を開始
- 5月30日(月)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～17:30)
- 11:15 2号機 使用済燃料プール代替冷却装置2次系のリークテスト実施。同2次系の試運転を開始(5月30日15:02)
- 12:06 2号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約53トン)注入実施(～13:52)
- 18:05 2号機 原子炉への注水について、消火系配管からの注水を停止(給水系による注水約5m³/hを継続)
- 5月31日(火)
- 08:00頃 専用港内において、5,6号機取水口カーテンウォール付近の海面に油が漏えいしていることを確認。護岸周辺に吸着マット及びオイルフェンスを設置(14:00頃及び16:50)
- 09:00頃 3号機 原子炉建屋において遠隔操作ロボットによる事前サーベイ実施(～16:00頃)
- 11:40 2号機 使用済燃料プール代替冷却装置1次系のリークテスト実施
同装置の本格運転開始(5月31日17:21)
- 14:30頃 4号機 原子炉建屋南側の屋外で、無線操作の無人重機によるがれき撤去作業現場で、大きな衝撃音を確認。その後、がれきの中にあつた酸素ボンベが破損したことによる衝撃音であることを確認。
- 20:30 1号機 原子炉圧力容器への注水量を約6m³/hから約5m³/hに変更

6月1日(水)

10:10 3号機 原子炉圧力容器への注水量を約 13.5m³/h から約 12.5m³/h(5月31日 10:19)、約 12.5m³/h から約 11.5m³/h へ変更

14:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送開始

14:34 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約 40トン)注水実施(14:41~15:26ヒドラジン約 0.14m³併せて注入)(~15:54)

6月2日(木)

12:50 3号機 タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送実施(~6月4日 21:56)

14:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~6月8日 18:00)(一時停止 6月5日 14:00~14:45)

6月3日(金)

13:16 3号機 原子炉への注水供給ラインのルート変更作業に伴い、冷却水注水を一時停止(~13:32)

13:49 2号機 原子炉への注水供給ラインのルート変更作業に伴い、冷却水注水を一時停止(~14:09)

14:35 4号機 使用済燃料プールへ淡水(約 210トン)を放水(~21:15)

15:00 頃 1号機 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施(~17:00 頃)

18:39 2号機 タービン建屋トレンチにある高線量の滞留水をタービン建屋内復水器ホットウエルへ移送実施(~6月4日 12:28)

6月4日(土)

09:57 1号機 原子炉への注水供給ラインのルート変更作業に伴い、冷却水注水を一時停止(~13:56)

10:02 1号機 消防ポンプによる原子炉への注水実施(~13:43)

14:23 4号機 使用済燃料プールへ淡水(約 180トン)を放水実施(~19:45)

18:39 2号機 タービン建屋トレンチにある高線量の滞留水を集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)へ移送実施(~6月16日 8:40)

6月5日(日)

10:16 1号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約 15トン)注水実施(~10:48)

13:08 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約 60トン)注入実施(~15:14)

18:26 3号機 タービン建屋内の溜まり水を復水器へ移送実施(~6月9日 10:44)

6月6日(月)

15:56 4号機 使用済燃料プールに淡水(約 90トン)放水実施(~18:35)

6月8日(水)

- 10:05 6号機 原子炉建屋地下の溜まり水(約17m³)を同号機廃棄物処理建屋へ移送実施(～12:40)
- 17:54 1号機 窒素供給装置の圧力上昇が確認されたことから、窒素供給を一時停止(14:57)したが、当該電源の復旧にともない、窒素供給再開
- 16:12 4号機 使用済燃料プールに淡水(約120トン)放水実施(～19:14)
- 6月9日(木)
- 09:00 6号機 タービン建屋の地下溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～18:00)
- 10:30 頃 2,3号機 スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の通水試験実施(～15:00 頃)
- 13:42 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約55トン)を注入実施(～19:14)
- 6月10日(金)
- 各号機のスクリーンピット部について、溜まり水の漏えい対策として39箇所の閉塞作業を終了
- 6月11日(土)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～15:00)
- 11:45 2号機 原子炉建屋の局所排風機の試運転を実施(～12:19)、二重扉を開放(12:39)、本格運転を開始(12:42)
- 15:30 3号機 タービン建屋の地下溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送実施(～6月12日17:01)
- 6月12日(日)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～15:00)
- 10:09 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水注入実施(～11:48)
- 6月13日(月)
- 10:00 2,3号機 スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の本格運転開始
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～16:00)
- 14:58 2号機 タービン建屋の溜まり水を1号機復水器へ移送準備のため、1号機復水器の水(約75トン)を1号機タービン建屋地下へ移送実施(～17:43)
- 16:36 4号機 使用済燃料プールに淡水(約150トン)放水実施(～21:00)
- 6月14日(火)
- 03:45 溜まり水処理設備のセシウム吸着装置について、低レベル汚染水を用いた試運転を実施(～14:00)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～16:00)
- 10:05 3号機 タービン建屋の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送実施(～6月16日8:46)
- 16:10 4号機 使用済燃料プールに淡水(約150トン)放水実施(～20:52)
- 6月15日(水)

- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～16:00)
- 10:06 1号機 原子炉注水量を約 5m³/h から約 4.5m³/h に変更
- 10:33 1号機 復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送実施(～6月16日9:52)
- 11:55 6号機 原子炉建屋地下の溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送実施(～14:00)
- 13:10 水処理装置の除染装置の試運転実施(～20:35頃)
- 22:40頃 セシウム吸着装置と除染装置の組合せ運転を実施(～6月16日00:20頃)
- 6月16日(木)
- 00:20頃 セシウム吸着装置と除染装置の組合せ連続運転開始
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送開始
- 13:14 4号機 使用済燃料プールへ淡水(約75トン)注入実施(～15:44)
- 19:20頃 セシウム吸着装置の水漏れにより、水処理装置の連続試運転を一時停止
- 6月17日(金)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～16:00)
- 10:19 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約49トン)注入実施(～11:57)
- 14:20 2号機 タービン建屋トレンチにある高線量の滞留水をタービン建屋復水器ホットウェルへ移送開始し、移送ポンプの不具合により移送停止(14:59)
- 20:00 水処理装置の本格運転開始
- 6月18日(土)
- 00:54 セシウム吸着装置のフィルタにおいて表面線量が交換基準に達したため、水処理装置を一旦停止
- 10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～16:00)
- 10:00 メンテナンスのため、循環型海水浄化装置を一時停止(～6月20日10:00頃)
- 13:31 3号機 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送実施(～6月20日00:02)
- 16:05 4号機 使用済燃料プールに淡水(約99トン)注入実施(～19:23)
- 21:00頃 水処理装置 吸着塔の交換準備作業中に水漏れを確認
- 6月19日(日)
- 09:14 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り(約80トン)(～11:57)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～16:00)
- 1,2号機開閉所の建屋修理に伴う大熊線2号線の停止作業の準備のため、以下の作業を実施
- ・1号機 炉心注入ポンプ電源を一時D/Gに切替え(10:35～15:47)、窒素封入を一時停止(11:48～16:05)
 - ・2号機 炉心注入ポンプの電源を一時D/Gに切替え(10:49～15:35)、使用済燃料プール代替冷却装置を一時停止(11:03～16:00)、局所排風機を一時停止(12:12～16:22)

・3号機 炉心注入ポンプの電源を一時 D/G に切替え(11:03~15:22)
仮設 1/2号 M/C(A),(B)およびパワーセンタ 2C を一時停止(13:09~15:09)その間、大熊線 3号線から受電

19:30 セシウム吸着装置の高濃度汚染水を使用した通水試験を実施(~23:45)

20:46 2号機 原子炉建屋に入域

20:51 2号機 原子炉建屋の二重扉を微開、全開(6月20日 05:00)

6月20日(月)

09:49 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(~09:52)、(10:06~6月21日 11:29)

10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~16:00)

10:25 セシウム吸着装置の高濃度汚染水を使用した通水試験を実施(~14:50)

13:37 2号機 タービン建屋トレンチにある滞留水を1号機の復水器へ移送実施(~6月21日 17:09)

14:30 2号機 原子炉建屋大物搬入口内外扉を開放

6月21日(火)

00:45 水処理装置の試運転を開始

07:20 凝集沈殿装置の薬液注入装置が停止したため、水処理装置の試運転を停止

10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~16:00)

10:02 1号機 原子炉注水量を約 4.5m³/h から約 4.0m³/h に変更

10:04 2号機 原子炉注水量を約 5m³/h から約 4.5m³/h に変更

10:06 3号機 原子炉注水量を約 11.0m³/h から約 10.0m³/h に変更

11:05 6号機 原子炉建屋地下の溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送実施(~13:30)

11:45 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(~12:52)

11:55 1号機 仮設変圧器設置作業のため、窒素封入を一時停止(~18:03)

13:15 2号機 原子炉建屋に入域し、計器校正作業および窒素封入箇所の事前調査を実施(~13:25)

15:32 3号機 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送実施(~6月27日 15:44)

6月22日(水)

08:32 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(~14:31)

09:56 2号機 タービン建屋トレンチにある滞留水を集中廃棄物処理施設へ移送開始

10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~16:00)

10:02 1号機 原子炉注水量を約 4.0m³/h から約 3.5m³/h に変更

10:04 2号機 原子炉注水量を約 4.5m³/h から約 4.0m³/h に変更

10:20 フラッシングのため水処理装置を停止(~6月23日 00:13)

14:31 4号機 使用済燃料プールに淡水を注入実施(~16:38)

6月23日(木)

- 00:43 水処理装置の試運転を開始
- 09:32 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(～15:29)
- 10:13 3号機 原子炉注水量を約 10.0m³/h から約 9.5m³/h に変更
- 10:36 2号機 仮設原子炉圧力計の設置作業を実施(～12:26)
- 13:00 水処理装置のセシウム吸着塔交換のため試運転を一時停止(～14:44)
- 18:27 1, 2号機 1号機原子炉注水ポンプにより、1, 2号機原子炉への注水開始
- 6月24日(金)
- 2号機 ロボットによる地下溜まり水水位計の設置作業を中断
- 06:58 頃 2号機 原子炉建屋開口部から出ているダストを採取していた無人ヘリコプターが原子炉建屋屋上に不時着
- 10:00 水処理装置のセシウム吸着塔交換のため試運転を一時停止(～12:50)
- 10:07 3号機 原子炉注水量を約 9.5m³/h から約 9.0m³/h に変更
- 10:30 3号機 原子炉建屋において、ロボットによる線量調査を実施(～12:42)
- 12:50 頃 淡水化処理装置における処理を開始
- 16:35 5号機 使用済燃料プールを燃料プール冷却浄化系により冷却開始
- 6月25日(土)
- 10:00 メンテナンスのため、循環型海水浄化装置を一時停止
- 10:00 水処理装置のセシウム吸着塔交換のため試運転を一時停止(～15:00)
- 15:24 油分分離装置の水位低下警報により水処理装置が自動停止
- 16:10 油分分離装置の水位低下警報により水処理装置が自動停止
- 16:35 水処理装置の試運転を再開
- 6月26日(日)
- 09:56 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールにホウ酸水(約 45トン)注入
- 10:00 水処理装置の吸着塔ベッセル交換のため試運転を一時停止(～18:10)
- 16:20 1～3号機 原子炉への注水について、ろ過水タンクからの注水に加え、水処理設備で処理した水の利用を開始
- 6月27日(月)
- 大熊線 2号線復旧に伴う所内電源切り替えのため、以下の作業を実施
- ・ 08:23 2号機 使用済燃料プール代替冷却装置を一時停止(～16:53)
 - ・ 08:51 1号機 窒素封入装置を一時停止(～15:07)
 - ・ 09:02 2号機 タービン建屋トレンチ滞留水の集中廃棄物処理施設への移送ポンプ停止(～17:07)
- 15:00 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールにホウ酸(約 60トン)を注水実施(～17:18)
- 17:00 3号機 タービン建屋地下滞留水を集中廃棄物処理施設へ移送(ポンプ 2台)(～6月28日 9:58)
- 17:55 水処理装置 配管からの漏えいを発見したため、処理した水の供給を停止

- 18:03 5号機 非常用ディーゼル発電機 5Aについて運用を開始し、待機状態に復帰
- 6月28日(火)
- 09:40 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(～15:29)
- 11:00 6号機 原子炉建屋地下の溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送実施(～13:20)
- 12:00 頃 6号機 タービン建屋地下滞留水を移送し、溜めていた仮設タンクから低濃度の汚染水が漏れいしていることを確認
- 12:32 5号機 非常用ディーゼル発電機 5Bについて運用を開始し、待機状態に復帰
- 15:55 1～3号機 原子炉への注水について、水処理装置で処理した水の供給を再開
- 20:06 2号機 原子炉格納容器での水素燃焼の可能性を下げることを目的として原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
- 6月29日(水)
- 10:59 1～3号機 原子炉への循環注水冷却を一時停止(～13:33)
- 13:28 4号機 原子炉建屋5階に入域し、使用済燃料プールの代替冷却工事の事前調査実施(～14:21)
- 14:45 3号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約30トン)注水(～15:53)
- 6月30日(木)
- 08:56 3号機 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送(ポンプ1台)
- 09:00 水処理装置の淡水化装置 濃縮水貯槽の増設・接続作業のため停止
- 10:02 5号機 残留熱除去系(RHR)ポンプを付属機器の電源切替のため一時停止(～11:48)
- 10:43 3号機 使用済燃料プール代替冷却装置1次系のリークテスト実施
- 10:46 水処理装置 吸着塔ベッセル交換のため運転を一時停止(～13:35)
- 11:30 4号機 仮設放水設備により使用済燃料プールに淡水を注入実施(～11:55)
- 13:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(～19:00)
- 14:36 水処理装置 水処理タンク水位低の警報が発報し自動停止
- 18:33 3号機 使用済燃料プール代替冷却装置の試運転開始
- 18:50 水処理装置 運転を再開
- 7月1日(金)
- 07:27 1～3号機 バッファタンクの設置・接続作業のため、処理水側からの給水を一時停止(～7月2日14:22、18:00～本格注水)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送開始
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(～7月3日16:00)
- 7月2日(土)
- 10:30 水処理装置 吸着塔ベッセル交換のため運転を一時停止(～13:45)

7月3日(日)

- 10:00 5号機 仮設の残留熱除去海水系(RHRS)ポンプ(C)の出口側配管交換作業のため、当該ポンプを一時停止(~13:36)
- 10:15 5号機 残留熱除去系(RHR)ポンプを一時停止(~13:40)
- 10:20 5号機 仮設 RHRS ポンプ(B)を一時停止(~13:22)
- 10:39 水処理装置 吸着塔ベッセル交換のため運転を一時停止(~12:50)
- 16:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送
- 20:17 水処理装置 バッファタンク満水のため、処理水のバッファタンク移送停止
なお、汚染水の処理及び炉心への注水は継続して実施中

7月4日(月)

- 08:50 1号機 原子炉注水量が3.0m³/hまで低下したため、フラッシングのため一度7.5m³/hに流量を上げた上で(8:40~8:50)、3.8m³/hに調整実施
- 09:13 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(~18:18)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~16:00)
- 13:30 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(~17:00)
- 17:18 処理水のバッファタンクへの移送再開

7月5日(火)

- 10:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(~17:00)
- 10:30 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~16:30)
- 10:30 水処理装置の吸着塔ベッセル交換のため運転を一時停止(~13:20)
- 15:10 1号機 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水(約75トン)を注水実施(~17:30)

7月6日(水)

- 06:53 バッファタンクの水位が上限管理値に近づいたため、処理水のバッファタンクへの移送停止。なお、汚染水の処理及び炉心への注水は継続して実施中
- 08:00 淡水化処理装置を一時停止(~7月7日11:09)
- 08:45 6号機 原子炉建屋地下の溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送実施(~10:50)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~17:00)
- 10:20 4号機 使用済燃料プールの代替冷却工事の準備を実施(~10:33)

7月7日(木)

- 04:52 バッファタンクの水位が下限管理値に近づいたため、処理水のバッファタンクへの移送開始
- 10:09 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(~17:00)
- 10:30 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~16:30)

- 11:00 水処理装置の運転を吸着塔ベッセル交換のため一時停止(～7月8日02:45)
- 15:00 2号機 タービン建屋トレンチの滞留水移送について、集中廃棄物処理施設において移送を停止する水位に達したため停止
- 23:30 処理水一時貯槽の水位が低下したため、滞留水移送ポンプを一時停止(～7月8日02:45)

7月8日(金)

- 02:45 処理水のバッファタンクへの移送を再開
- 04:44 処理水一時貯槽の水位が低下したため、滞留水移送ポンプを一時停止
- 08:20 4号機 使用済燃料プール代替冷却工事のため、3号機使用済燃料プール代替冷却装置を一時停止(～14:24)
- 08:22 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(～13:52)
- 10:00 4号機 使用済燃料プールの代替冷却工事に関し、配管の健全性確認を実施(～11:30)
- 10:00 水処理装置の運転を吸着塔ベッセル交換のため一時停止(～12:04)
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(～17:00)
- 10:30 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(～16:30)
- 10:44 2号機 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への移送ラインをフラッシング実施(～12:30)
- 13:51 バッファタンクの水位が下限管理値に近づいたため、処理水のバッファタンクへの移送を再開

7月9日(土)

- 07:35 処理水一時貯槽の水位が低下したため、処理水のバッファタンクへの移送を停止
なお、汚染水の処理及び炉心への注水は継続して実施
- 10:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(～17:00)
- 10:30 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送(～16:30)
- 14:49 3号機 タービン建屋地下への溜まり水の集中廃棄物処理施設への移送を停止
- 15:22 3号機 タービン建屋地下への溜まり水の集中廃棄物処理施設への移送ラインのフラッシング開始
- 15:59 処理水のバッファタンクへの移送を再開

7月10日(日)

- 04:53 凝集沈殿装置の薬液注入ラインからの漏えいのため、水処理装置を停止
- 12:11 処理水一時貯槽の水位が低下したため、処理水のバッファタンクへの移送を一時停止。なお、汚染水の処理及び炉心への注水は継続して実施
- 15:15 3号機 タービン建屋地下の溜まり水の集中廃棄物処理施設への移送を再開
- 17:06 凝集沈殿装置の漏えい箇所の修理を行い、水処理装置を起動。その後、定格流量に到達(17:40)

21:20 処理水のバッファタンクへの移送を再開

7月11日(月)

夜の森線2回線化準備工事のため、ディーゼル発電機の操作を実施

・D/G 5A起動(03:03)、並列(03:19)、解列(09:07)、停止(09:07)警報により停止

・D/G 5B起動(03:37)、並列(03:44)、解列(13:18)、停止(14:44)

・D/G 6A起動(04:17)、並列(04:21)、解列(13:40)、停止(15:42)

・D/G 6B起動(04:31)、並列(04:36)、解列(13:44)、停止(16:36)

05:01 夜の森線2回線化準備工事のため、夜の森線受電停止(~13:44)

10:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(~17:00)

10:30 6号機 タービン建屋地下の溜まり水を仮設タンクへ移送実施(~16:30)

7月12日(火)

08:51 凝集沈殿装置の薬液注入ライン接続部付近からの漏えいのため、水処理装置を停止

11:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(~16:00)

11:22 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(~12:03)

16:28 凝集沈殿装置の漏えい箇所の修理を行い、水処理装置を起動

7月13日(水)

06:30 5号機 仮設 RHRs ポンプのホース交換のため、RHR ポンプを一時停止(~10:58)

08:40 6号機 原子炉建屋地下の溜まり水を同号機廃棄物処理建屋へ移送実施(~10:50)

10:00 6号機 タービン建屋地下の滞留水を移送し溜めていた仮設タンクからメガフロートへ移送実施(~17:00)

10:00 2号機 タービン建屋トレンチにある滞留水を集中廃棄物処理施設へ移送開始

10:09 4号機 機器仮置きプール(DSP)へ水張り実施(~12:45)

11:00 水処理装置の運転を吸着塔ベッセル交換のため、一時停止

13:07 水処理装置について、フラッシング運転中に凝集沈殿装置の薬液注入ライン接続部付近からの漏えいを確認。このため、フラッシングを停止

16:22 バッファタンクへの移送量を $23\text{m}^3/\text{h}$ から $18\text{m}^3/\text{h}$ に調整実施

7月14日(木)

05:30 1号機 原子炉注水量が $3.2\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.5\text{m}^3/\text{h}$ に変更

【参考情報】

東京電力 プレスリリース

東北地方太平洋沖地震発生時当初の福島第一原子力発電所における対応状況
について(平成 23 年 6 月 18 日)

<http://www.tepco.co.jp/cc/press/11061806-j.html>

以 上